

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境					0.40	-	-	2.8
1 音環境				2.6	0.15	2.6	1.00	2.6
1.1 室内騒音レベル		—		3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能		—		-	-	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		—		3.0	1.00	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		—		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		—		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		—		1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境				2.3	0.35	2.0	1.00	2.2
2.1 室温制御				2.5	0.50	3.0	0.50	
1 室温		—		2.0	0.50	3.0	0.57	
2 外皮性能		—		-	-	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		—		3.0	0.50	-	-	
2.2 湿度制御		—		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		—		3.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境				3.0	0.25	3.3	1.00	
3.1 昼光利用				-	-	4.2	0.30	
1 昼光率		病室部: 昼光率3.725%		-	-	5.0	0.60	
2 方位別開口		—		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		—		-	-	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				-	-	3.0	0.30	
1 昼光制御		—		-	-	3.0	1.00	
3.3 照度		—		3.0	0.38	3.0	0.15	
3.4 照明制御		—		3.0	0.63	3.0	0.25	
4 空気質環境				3.6	0.25	3.3	1.00	3.5
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		(共通)F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気				2.0	0.30	2.3	0.38	
1 換気量		—		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		—		-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		—		1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		—		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		建物内は禁煙予定としている		5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				—	0.30	-	-	2.9
1 機能性				2.5	0.40	3.8	1.00	2.7
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		個室10㎡/床及び多床室8㎡/床以上		-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応		—		-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		—		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観		—		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		—		-	-	-	-	
3 内装計画		—		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		取組の合計: 6		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		—		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		—		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		—		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		—		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上り材の補修必要間隔		—		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上り材の更新必要間隔		ビニルクロス: 耐用年数20年		5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		—		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種のうち、2種類にBを採用、Eは不採用		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		—		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		—		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		—		2.0	0.20	-	-	
3 電気設備		—		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		—		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		—		3.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性			3.1	0.30	2.7	1.00	3.0
	3.1 空間のゆとり			3.4	0.30	2.4	0.50	
		1 階高のゆとり	—	3.0	0.60	2.0	0.60	
		2 空間の形状・自由さ	診察室：壁長さ比率0.11	4.0	0.40	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり	—	3.0	0.30	3.0	0.50		
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-		
	1 空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-		
	2 給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-		
	3 電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-		
	4 通信配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-		
	5 設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-		
	6 バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-		
	Q3 室外環境(敷地内)			—	0.30	-	-	2.6
1	生物環境の保全と創出		—	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮		—	2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		—	3.0	0.50	-	-
	3.2	敷地内温熱環境の向上		—	3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			—	0.40	-	-	-	3.5
1	建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.76	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		BEI _m =0.65	3.2	0.50	-	-	3.2
	集合住宅以外の評価			3.2	1.00	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			—	0.30	-	-	-	3.6
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	(洗面)自動水栓+(便器)擬音装置 採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60	-	-	3.6
	2.1	材料使用量の削減	—	3.0	0.11	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	—	3.0	0.22	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.22	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床材・屋根・便座にリサイクル資材を採用	5.0	0.22	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	—	-	-	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロアを採用	4.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	—	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	—	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	外壁断熱材：硬質ウレタンフォームA種1Hを採用	5.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			—	0.30	-	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮		LCCO ₂ :72%	4.1	0.33	-	-	4.1
2	地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1	大気汚染防止	—	3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	—	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
	2	污水处理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	—	2.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	—	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	—	-	-	-	-	
	3	悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	—	-	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	—	3.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	6.0		○	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0		-	○	○	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		-	-	○	-	○	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	8.0		-	-	3.0	2.0	-	1.0	-	-	1.0	1.0	-		
2 まちなみ・景観への配慮	1.0		-	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	-	-	1.0	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	10.0		-	-	2.0	3.0	-	2.0	-	1.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	1.0		-	-	1.0										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		-	-	○	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	6.0		-	-	-	-	3.0	2.0	-	1.0	-	-			
2.3.3 交通負荷抑制	1.0		1.0	-	-	-	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		-	1.0	1.0	-		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		1.0	1.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)			
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床	
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC	η AH	
昼光率	3.7%				
自然換気有効開口面積率					

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	-	/人	病床	8.0㎡/床	シングル	-	ツイン	-
コンセント容量	-	VA/㎡						
天井高	-	m						
リフレッシュスペース	-	レストスペース	-					
想定耐用年数	-	年						
想定必要間隔	-	年						
想定必要間隔		20 年						
想定必要間隔	-	年						
階高	-	m						
壁長さ比率		11.0%						
床荷重		- N/m2						

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	-	建物緑化指数	-				
空地率	-	水平投影面積率	-	地表面対策面積率	-	舗装面積率	-

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m 0.76 断熱等性能等級				0 相当					
自然エネルギー直接利用量		-	MJ/年㎡	採光を満たす教室数		-	採光を満たす住戸数	-	
				通風を満たす教室数		-	通風を満たす住戸数	-	
				太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
BEI/BEI _m	再エネ有	0.65	無	0.65	オフサイト再エネ有	-	-		
一次エネ削減率	再エネ有		無			-			

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	-				
特定調達品目	押ボリ・電気便座	エコマーク商品	ビニル床シート	自治体指定の特定品目等	-
使用比率	-				
オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)				
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)		1	
オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)				

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	-	隣棟間隔指標 R_w	-						
地表面対策面積率	-	屋根面対策面積率	-	外壁面対策面積率	-				
見付面積 S_b	-	卓越風向と直交する最大敷地幅 W_s	-	m	基準高さ H_b	-	m		
緑地	410㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡	再帰性反射対策面	㎡